

地域社会への貢献

企業理念の根本哲学「人間愛」を活動理念に掲げ、「次世代育成」「環境配慮」「住文化向上」「防災・被災地支援」を柱に、本業を通じた活動はもちろん、「従業員のボランティア活動、チャリティー参加」「NPO・NGOとの協働、活動支援」「教育機関と連携した教育支援活動」などで、一人ひとりの自発的活動が可能な仕組みをつくり、地域に根差した活動を続けています。

「積水ハウスマッチングプログラム」 ～社会課題の解決を担うNPOなどを支援～

当社グループは、従業員と会社との共同寄付制度「積水ハウスマッチングプログラム」(会員数約4400人)を2006年度に開始し、サステナブル社会の構築に寄与する社会的活動を担うNPOなどの団体を支援しています。

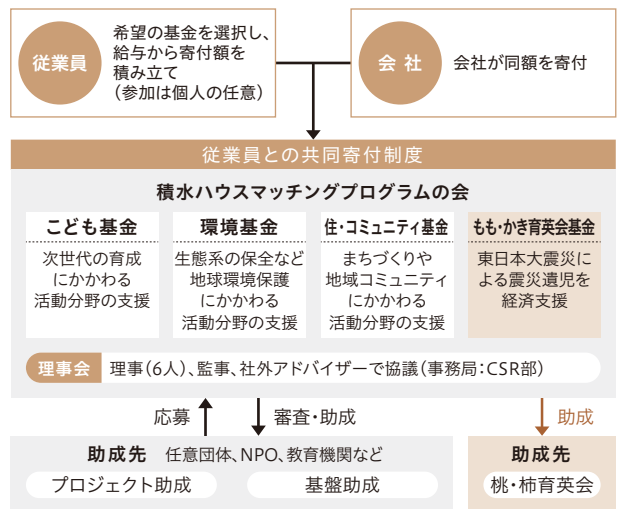
この制度は、従業員が給与から希望する金額(1口100円)を積み立て、それに会社が同額の助成金を加えて寄付する仕組みです。「こども基金」「環境基金」「住・コミュニティ基金」「もも・かき育英会基金」の4基金を設置。会員代表で構成する理事会において支援先を決定しています。

2018年度は「こども基金」「環境基金」「住・コミュニティ基金」計29団体に2634万円を助成。また、「もも・かき育英会基金」では、2017年度に1350万円(累計:8250万円)を東日本大震災による震災遺児を経済支援す



る「桃・柿育英会」(実行委員長:建築家・安藤 忠雄氏)へ寄付しました。4基金でこれまで延べ286団体に3億円を超える助成を実施しています。

「積水ハウスマッチングプログラム」の仕組み



プロジェクト助成 (団体からの申請プロジェクトに対する助成)

※このほか、インフラ整備、活動の質の向上など、団体の今後の発展に期待して助成する「基盤助成」を実施

「こども基金」15団体1450万円

- NPO法人 アスベ・エルデの会
- 認定NPO法人 ESAアジア教育支援の会
- 認定NPO法人 エファジャパン
- 認定NPO法人 幼い難民を考える会
- NPO法人 関西NGO協議会
- NPO法人 子育て家庭支援センターあいくる
- 認定NPO法人 国境なき子どもたち
- NPO法人 コドモ・ワカモノまちing
- NPO法人 Japan Hair Donation & Charity
- 社会福祉法人 ストローム福祉会 山王こどもセンター
- 認定NPO法人 3keys
- NPO法人 にじいろクレヨン
- 認定NPO法人 日本レスキュー協会
- 認定NPO法人 フードバンク山梨
- NPO法人 福島就労支援センター



カンボジア「村の幼稚園」プロジェクト (認定NPO法人 幼い難民を考える会)

「環境基金」11団体1018万円

- 一般社団法人 あきた地球環境会議
- 公益財団法人 オイスカ
- NPO法人 大阪湾沿岸域環境創造研究センター
- 認定NPO法人 共存の森ネットワーク
- NPO法人 吉里吉里国
- NPO法人 グラウンドワーク三島
- 認定NPO法人 トゥギヤザー
- NPO法人 八東川清流クラブ
- NPO法人 フェア・プラス
- NPO法人 緑のダム北相模
- NPO法人 森のライフスタイル研究所



千葉県山武市蓮沼殿下海岸林の再生 (NPO法人 森のライフスタイル研究所)

「住・コミュニティ基金」2団体150万円

- NPO法人 循環生活研究所
- NPO法人 しんしろドリーム荘



限界集落を再生する空き家マッチングプロジェクト (NPO法人 しんしろドリーム荘)

**「積水ハウス エコ・ファースト パーク」
～「エコ・ファーストの約束」で示した環境テーマが体験できる公開施設～**

当社が取り組み続けてきた、環境活動の歴史の中での象徴的なモデル施設群を関東工場(茨城県古河市)に集め、「エコ・ファーストの約束」で示した三つの環境テーマ(「温暖化防止」「生態系保全」「資源循環」)への取り組みが体験できる施設として、「積水ハウス エコ・ファースト パーク」を運営、広く一般に公開しています(公開開始2015年5月)。

本施設では、快適な暮らしのためには環境配慮設計や技術が不可欠であり、エネルギーをなるべく使わない、生態系を壊さない、廃棄物を出さないといった地球環境を守るために住まいが果たす役割が多くあることを体感しながら楽しく学ぶことができます。広く一般の方々に当社の環境技術の先進性をアピールするだけでなく、小学生の親子向けに環境教育プログラムを実施したり、大学生や高校生に住まいと環境の関係を理解する教材として利用いただいたりしています。今後も継続発展できる施設を目指して、積極的に活用・アピールしていきます。



「積水ハウス エコ・ファースト パーク」全景



畳の解体作業を体験



大学の講義の場として活用



見学に訪れた留学生

**全国の学校やイベント会場で
環境教育プログラムを実施**

「エコ・ファースト企業」の三つの約束である「CO₂排出量削減」「生態系ネットワークの復活」「資源循環の取り組み」をテーマに、暮らしの中でできる省エネや生態系保全、資源の有効活用の大切さを学ぶ三つの体験型教育プログラムを全国各地の学校への出張授業やイベントなどで実施しています。

地球温暖化と暮らしのかかわりを学ぶ学習プログラム「いえエコロジー」セミナー



「絹谷幸二 天空美術館」

アフレスコ画(壁画の古典技法)の日本の第一人者であり、世界を舞台に活躍する画家、絹谷幸二氏の「絹谷幸二 天空美術館」を本社のある梅田スカイビルに開設。世界初の絵の中に飛び込む体験ができる3D映像や、人々を元気にするという思いで描いた色彩豊かな絵画や彫刻の数々を展示し、世界中の人々を魅了する絹谷ワールドを存分に体感できる施設となっています。親子で描く肖像画や壁に絵を描くアフレスコ体験など天空美術館ならではのイベントも実施しています。



壁に絵を描くアフレスコ体験

社員の子どもを対象に会社見学会を開催

社員の子どもの対象とした会社見学会を実施しています。本社のある梅田スカイビルでは、夏休みの日の朝、親子で一緒に通勤し、子どもたちが父母の職場を訪問。名刺交換を体験し、仕事内容の説明を受けた後、写真撮影を行っています。参加した親子からは「夏休みの良い思い出になった」との声が寄せられ、好評な取り組みの一つとなっています。



熱心に説明を聞く子どもたち



社員との名刺交換を体験

障がい者の自立と社会参加を支援

NPO法人トゥギャザー(大阪市)と協働し、全国で開催する実例見学会「住まいの参観日」や展示場への来場者に渡すノベルティーとしてSELP(セルプ)製品※を採用しています。2017年度は、ノベルティーグッズとして全国で計2万8991個を採用しました。

※障がい者が社会福祉施設で職業訓練や社会参加の実現を目的に働き、つくった製品



SELP製品のエコバッグ